

各種資産評価単価の訂正に伴う 費用便益分析への影響について

各種資産評価単価の訂正に伴う費用便益分析への影響について

- 令和4年8月1日に、各種資産評価単価(平成19年度(2007年度)公表分～令和2年度(2020年度)公表分)について、数値の一部に誤りがあることが判明し、訂正値を公表※
- 訂正に伴う平成29年度、令和元年度および令和2年度の事業評価については、B/Cが1.0を下回る事業はないことを確認し、事業評価における対応方針への影響が無いことを、令和4年8月5日の事業評価小委員会(第15回)で報告
- 今回、以下の事業について、公表されている訂正後の各種資産評価単価を用いて再計算を実施し、B/Cの結果に大きな影響が無いことを確認

評価年度	事業名	B(億円)		B/C	
		訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
H29	荒川直轄河川改修事業(荒川第二・三調節池)	14,920	14,916	11.7	11.7
R1	藤原・奈良俣再編ダム再生事業	483	483	33.3	33.3
R1	大町ダム等再編事業	2,558	2,557	9.9	9.9
R1	九頭竜川上流ダム再生事業	483	480	2.3	2.3
R1	旭川中上流ダム再生事業	806	806	2.9	2.9
R2	渡良瀬上流特定構造物改築事業(中橋)	256	256	6.7	6.7
R2	木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)	1,755	1,756	9.6	9.6
R2	筑後川総合内水緊急対策事業	70	70	1.9	1.9

※「各種資産評価単価及びデフレーター(平成19年度(2007年度)公表分～令和2年度(2020年度)公表分)」における各種資産評価単価の訂正について(令和4年8月1日)
https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/20220801_Teisei.pdf